

## 「消費者教育の体系イメージマップ」について

平成 25 年 12 月 24 日  
消費者庁消費生活情報課

### 1. 経緯

消費者庁では、平成 24 年 9 月から 12 月まで、4 回にわたり、「消費者教育推進のための体系的プログラム研究会」（座長：西村隆男 横浜国立大学教授）を開催した。

本研究会で検討した「消費者教育の体系イメージマップ」（以下「イメージマップ」という。）と、その「活用ガイド」を取りまとめ、平成 25 年 1 月 21 日に公表した。

### 2. 「イメージマップ」とは

消費者教育は、幼児期から高齢期までの各段階に応じて体系的に行われるとともに、学校、地域、家庭、職域その他の様々な場の特性に応じた適切な方法により、行われなければならない（消費者教育の推進に関する法律（平成 24 年法律第 61 号）第 3 条第 3 項及び第 4 項参照）。

「イメージマップ」は、消費者教育の重点領域をタテ軸に、幼児期から高齢期までのライフステージ各時期をヨコ軸に配置し、その交わったボックスに教育内容（学習目標）を記したマトリックス状の一覧表である。

これまで多様な担い手によって実施されてきた消費者教育の実践や、内閣府・消費者庁における研究注を踏まえ、自立し、消費者市民社会を形成する消費者を育むための教育内容について、共通認識を持つための道具となることを目指した。

注 これまでの研究成果の例

- ・「消費者教育体系化のための調査研究報告書」（「消費者教育の体系シート」を公表、平成 18 年 3 月 内閣府）
- ・「消費者教育の総合的推進に関する調査研究報告書」（平成 19 年 3 月 内閣府）
- ・「消費者教育の総合的推進方策に関する調査研究報告書」（平成 20 年 3 月 内閣府）
- ・「消費者教育推進のための課題と方向」（平成 24 年 4 月 6 日公表 消費者庁消費者教育推進会議：平成 22 年 11 月～平成 24 年 3 月の報告）

「活用ガイド」では、学校、家庭、社会、職場等、多様な場での「イメージマップ」の活用法や、「イメージマップ」を踏まえた消費者教育の展開モデル例 4 例を挙げている。

## 参考 1 消費者教育推進のための体系的プログラム研究会 委員名簿

(敬称略・五十音順)

今成 昭	全国家庭科教育協会副会長 全国高等学校家庭クラブ連盟事務局次長
柿野 成美	公益財団法人消費者教育支援センター主任研究員
北 俊夫	国土舘大学教授
島田 広	弁護士
清水 きよみ	公益社団法人消費者関連専門家会議事務局長
高橋 伸子	生活経済ジャーナリスト
中尾 政之	東京大学大学院教授
座長 西村 隆男	横浜国立大学教授
古谷 由紀子	公益社団法人日本消費生活 アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問
吉松 恵子	独立行政法人国民生活センター総括主任相談員

## 参考 2 「活用ガイド」(P.43) 第 4 章 消費者教育推進のための体系的プログラムの普及に向けて より (抜粋)

### 3 体系的プログラムの構築と消費者教育の推進のために～まとめにかえて

#### (1) 体系的プログラムの構築

今回まとめたイメージマップは、消費者教育を推進するための道具です。

まずは道具として、消費者教育ポータルサイトをイメージマップに沿った形で改修し、イメージマップの項目ごとに理論的な解説、教材、指導案、実践事例等、様々な情報の集約を進めていく必要があります。さらにイメージマップの項目間の関連性や、消費者教育と他の関連する教育との連携のための考え方などの情報を付け加えていく必要もあります。

そのような形で情報の集約が進むことにより、消費者教育の実践に必要な情報が体系的に得られて、その情報を活用して実践することが、体系的プログラムの一部の実践と言えるようになるはずです。

他方、教材や実践などの情報が不十分なところを把握し、実践が行われるように促していく役割も課せられているといえます。

#### (2) イメージマップの活用と改良

本研究会としては、まずはこのイメージマップを多くの方々に活用していただきたいと考えています。

具体的には、イメージマップのタテ（対象領域）・ヨコ（ライフステージ）の交わったボックスに書かれた目標を手がかりとして、家庭、地域、学校、職域などの様々な場で実施されている消費者教育の情報を整理し、新たな取組のテーマを見出すヒントにすることなどが想定されています。

さらに、第3章で示した展開モデル例を参考にして、それぞれの現場で消費者教育のプログラムの充実に取り組んでいただきたいと思います。

また、学習会やシンポジウム等の素材としてもこのイメージマップを活用していただきたいと思います、そして、議論を通じて改良意見を出していただき、イメージマップのバージョンアップを図りたいと考えています。道具としてのイメージマップも、常に検証し、改良が必要になります。

そのため、本イメージマップは、Ver. 1.0 としておきます。